

総合交通対策調査特別委員会 報告資料

令和6年11月15日

報告事項件名	頁
(1) 足立区の交通事故概要及び「第11次足立区交通安全計画」の 進捗状況について	2
(2) つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について	7
(3) 綾瀬駅東口交通広場の整備に伴うはるかぜの経路変更等について	10
(4) 足立区デマンドタクシー「足タク」の実証実験について	14

(都市建設部)

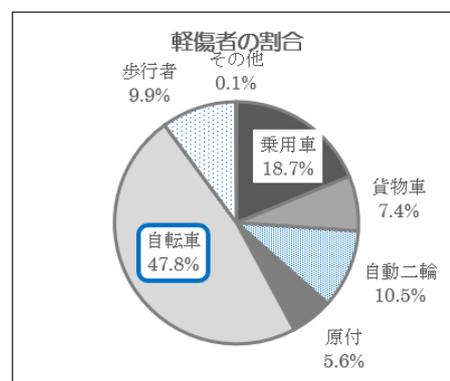
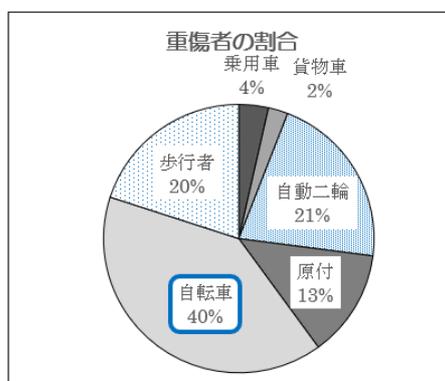
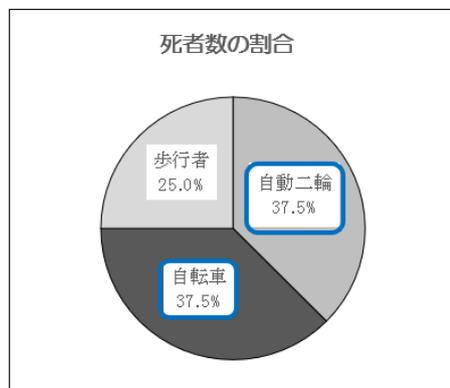
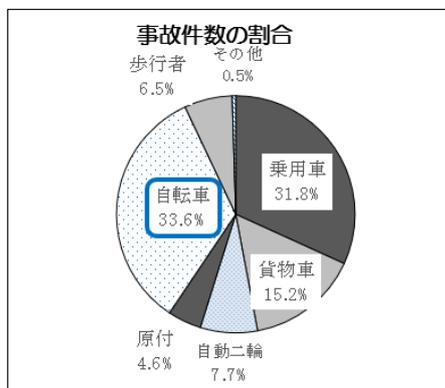
総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年11月15日

件名	足立区の交通事故概要及び「第11次足立区交通安全計画」の進捗状況について																																																							
所管部課名	都市建設部交通対策課																																																							
内容	<p>令和3年度に策定した『第11次足立区交通安全計画(令和3～7年度)』について、毎年度1回足立区交通安全協議会幹事会(※1)にて、進捗管理を行っている。</p> <p>令和6年度も、8月30日に同幹事会を书面開催にて実施し、区内の交通事故の概要及び計画の進捗状況を取りまとめた(※2)ため、以下のとおり報告する。</p> <p>※1 構成員は町会・自治会連合会の代表、警察署、交通安全協会、消防署、学校関係者、道路管理者等24名</p> <p>※2 詳細は別添資料『足立区の交通事故概要及び「第11次足立区交通安全計画」の進捗状況』参照</p> <p>1 足立区の交通事故概要</p> <p>(1) 足立区の交通事故件数の推移と状況</p> <p>ア 発生件数1,891件(前年比+32件) 都内ワースト1 イ 負傷者数2,067人(前年比+66人) 都内ワースト1 ウ 死者数8人(前年比-2人) 都内ワースト3 (ワースト1位 大田区11人、2位 世田谷区9人、3位 足立区、江戸川区、練馬区8人)</p> <div data-bbox="438 1377 1428 1960"> <p>足立区内の交通事故発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>負傷者数</th> <th>発生件数</th> <th>死者数</th> <th>死者数低減目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>2,335</td><td>2,047</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,140</td><td>1,857</td><td>8</td><td>6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,994</td><td>1,718</td><td>7</td><td>5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,919</td><td>1,714</td><td>10</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,923</td><td>1,738</td><td>10</td><td>5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,970</td><td>1,767</td><td>8</td><td>5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,677</td><td>1,499</td><td>9</td><td>5</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,795</td><td>1,654</td><td>8</td><td>5</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,001</td><td>1,859</td><td>10</td><td>5</td></tr> <tr><td>R5</td><td>2,067</td><td>1,891</td><td>8</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> </div>	年次	負傷者数	発生件数	死者数	死者数低減目標	H26	2,335	2,047	8	8	H27	2,140	1,857	8	6	H28	1,994	1,718	7	5	H29	1,919	1,714	10	5	H30	1,923	1,738	10	5	R1	1,970	1,767	8	5	R2	1,677	1,499	9	5	R3	1,795	1,654	8	5	R4	2,001	1,859	10	5	R5	2,067	1,891	8	5
年次	負傷者数	発生件数	死者数	死者数低減目標																																																				
H26	2,335	2,047	8	8																																																				
H27	2,140	1,857	8	6																																																				
H28	1,994	1,718	7	5																																																				
H29	1,919	1,714	10	5																																																				
H30	1,923	1,738	10	5																																																				
R1	1,970	1,767	8	5																																																				
R2	1,677	1,499	9	5																																																				
R3	1,795	1,654	8	5																																																				
R4	2,001	1,859	10	5																																																				
R5	2,067	1,891	8	5																																																				

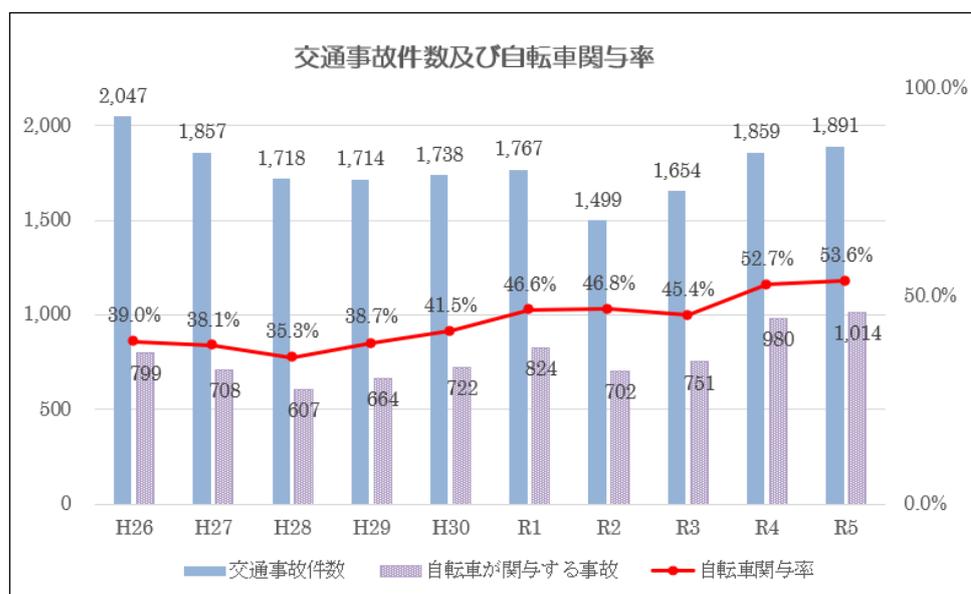
(2) 状態別交通事故発生状況（令和5年）

- ア 事故件数の割合は、自転車33.6%と最も多かった。
- イ 死者は、自動二輪、自転車共に37.5%と多かった。
- ウ 重傷者、軽傷者は、共に自転車運転中が最も多かった。



(3) 交通事故件数の推移及び自転車関与率

- ア 過去10年間で区内の自転車が関与する事故
 - (ア) 自転車が関与する事故は、平成28年以降は増加傾向
 - (イ) 令和5年には53.6%にまで上昇



イ 自転車事故の原因（令和5年）

（ア）「運転操作誤り」によるものが294件で最も多く、違反ありの35.6%を占める。

（イ）次に「安全不確認」が162件で、違反ありの19.6%を占める。

自転車の事故原因	件数（割合）	死者数	重傷者数	軽傷者数	
違反あり	信号無視	30（3.6%）	0	6	13
	優先通行	4（0.5%）	1	2	1
	交差点安全進行	73（8.8%）	1	4	58
	一時不停止	48（5.3%）	0	2	39
	運転操作誤り	294（35.6%）	0	0	287
	前方不注意	35（4.2%）	0	0	14
	安全不確認	162（19.6%）	0	5	106
	その他違反	179（21.7%）	0	4	129
違反なし	292	1	11	300	

2 主な取組と実施状況

（1）幼稚園・保育園での交通安全教室

ア 112園で実施（前年101園で実施）

イ DVD鑑賞、警察官による講話、歩行訓練を実施し、園児一人ひとりに反射材を配付し、交通安全の意識を身につけるよう指導した。

ウ 送迎時やイベント時に併せて、保護者に対する交通安全の啓発も実施し、家庭において適切な指導が出来るよう努めた。



（2）小学校での自転車安全運転免許証発行事業

ア 全67校 4,966名に実施（前年 全68校、5,006名）

イ 警察署と連携し、小学校3年生向けに座学や実技指導を含む自転車教室を実施し、自転車安全運転免許証を交付した。

ウ 教室に手伝いで参加している保護者に対しても、模範的な行動をとれるよう基本的な交通ルールや交通マナーを指導した。

エ 令和5年度からトラック等を活用した死角や内輪差の教育活動に対する補助事業を開始し、10校で実施した。



(3) 中学校・高校でのスタントマンを活用した体験型交通安全教室

ア 15校、5,870名に実施（前年 14校、6,206名）

イ スタントマンによる事故再現を間近で見ることにより、交通事故の怖さを体感し事故を起こさせない、当事者にならない重要性を指導した。

ウ 参加生徒からアンケートを取ったところ97.7%が交通安全に対する意識が高まったと回答があった。



(4) 高齢者・大人向けの交通安全講話

ア 20回、750名に実施（前年 12回、665名）

イ 子育てサロン利用者に、反射材の活用等についての講話を実施。

ウ 住区センターで実施している高齢者向けの交通安全講話においては、自転車用ヘルメット着用や補助事業の周知も行った。

エ 千本桜まつり、しょうぶまつり、あだち区民まつり、L・フェスタでは、自転車シミュレータ体験を実施し、計706名が体験した。



(5) ポスターの制作等を通じた啓発活動の推進

ア 応募作品794点（前年 応募作品999点）

イ 小・中学生を対象とした「交通安全ポスターコンクール」を実施し、64点の入賞（金賞・銀賞・銅賞）を決めた。

ウ 金賞作品の中から令和6年度の春・秋の交通安全運動用ポスター（計2点）を10月に区民投票で選出し、11月に入賞作品全64点の展示をアリオ西新井3階にて実施した。



3 今後の方針

(1) 交通安全の普及啓発の進め方

ア 交通事故件数の多い20歳代から50歳代については、交通安全啓発の機会が少ない課題もあるため、子育てサロンなどでの啓発の拡充や、SNSでの情報発信の強化など様々なアプローチを進めていく。

イ 電動キックボードやペダル付き電動バイク（通称「モペット」）については、特に若年層を中心に周知・啓発を行っていく。

(2) 自転車関与事故に対する啓発について

ア 令和6年11月1日からの自転車運転中のながらスマホや酒気帯び運転に対する罰則強化について、各種交通安全教室やSNSによる情報発信、区営自転車駐車場におけるポスター掲出等で周知していく。

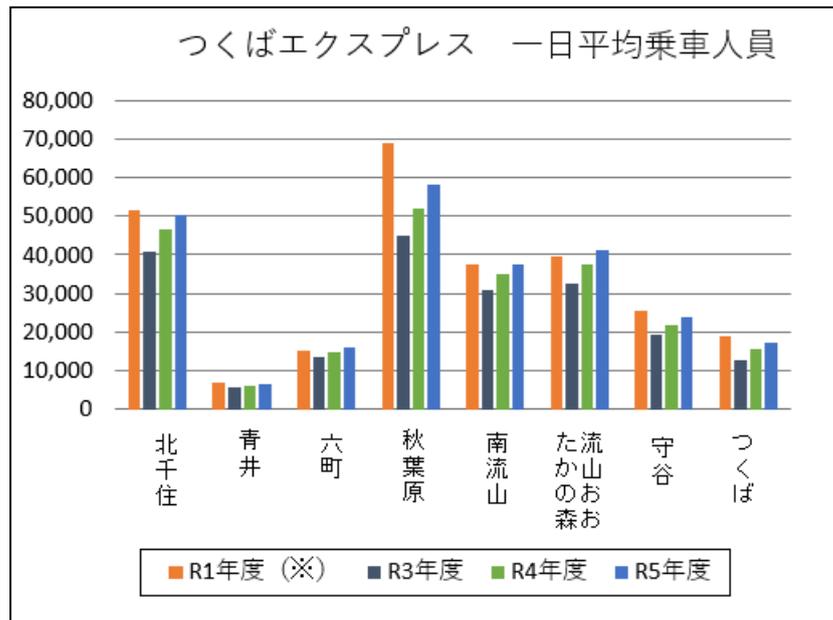
イ 今後予定される自転車への交通反則通告制度の適用も踏まえ、啓発チームによる街頭啓発やキャンペーン、交通安全教室を通じて自転車ルール・マナーやヘルメットの着用、自転車保険の加入の周知を強化するとともに自転車シミュレータなど体験型の教育を拡充していく。

引き続き、関係機関と連携しながら、幅広い世代に対して交通安全に関する様々な取組みを推進していく。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年11月15日

件名	つくばエクスプレスと日暮里・舎人ライナーの輸送実績について																																													
所管部課名	都市建設部交通対策課																																													
内容	<p>つくばエクスプレス及び日暮里・舎人ライナーの令和5年度輸送実績（令和5年4月～令和6年3月）について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 つくばエクスプレスの令和5年度輸送実績 （首都圏新都市鉄道株式会社提供）</p> <p>（1）年間輸送人員 1億3,868万人 （令和4年度 1億2,638万人 9.7%増） ※ 参考 新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度は 1億4,311万人</p> <p>（2）一日平均輸送人員 38万3千人 （令和4年度 34万9千人 3万4千人増）</p> <p>（3）混雑率 154% （令和4年度 138% 16ポイント増）</p> <p>（4）主要駅別の一日平均乗車人員 （単位 人）</p> <table border="1" data-bbox="454 1317 1385 1818"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>令和元年度（※）</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北千住</td> <td>51,540</td> <td>40,822</td> <td>46,489</td> <td>50,323</td> </tr> <tr> <td>青井</td> <td>6,680</td> <td>5,671</td> <td>6,090</td> <td>6,445</td> </tr> <tr> <td>六町</td> <td>15,231</td> <td>13,324</td> <td>14,867</td> <td>16,173</td> </tr> <tr> <td>秋葉原</td> <td>68,955</td> <td>44,876</td> <td>52,007</td> <td>58,295</td> </tr> <tr> <td>南流山</td> <td>37,560</td> <td>31,064</td> <td>34,909</td> <td>37,577</td> </tr> <tr> <td>流山おおたかの森</td> <td>39,714</td> <td>32,529</td> <td>37,690</td> <td>41,074</td> </tr> <tr> <td>守谷</td> <td>25,559</td> <td>19,192</td> <td>21,927</td> <td>23,758</td> </tr> <tr> <td>つくば</td> <td>18,671</td> <td>12,654</td> <td>15,413</td> <td>17,273</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の値として参考に掲載</p>	駅名	令和元年度（※）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	北千住	51,540	40,822	46,489	50,323	青井	6,680	5,671	6,090	6,445	六町	15,231	13,324	14,867	16,173	秋葉原	68,955	44,876	52,007	58,295	南流山	37,560	31,064	34,909	37,577	流山おおたかの森	39,714	32,529	37,690	41,074	守谷	25,559	19,192	21,927	23,758	つくば	18,671	12,654	15,413	17,273
駅名	令和元年度（※）	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																										
北千住	51,540	40,822	46,489	50,323																																										
青井	6,680	5,671	6,090	6,445																																										
六町	15,231	13,324	14,867	16,173																																										
秋葉原	68,955	44,876	52,007	58,295																																										
南流山	37,560	31,064	34,909	37,577																																										
流山おおたかの森	39,714	32,529	37,690	41,074																																										
守谷	25,559	19,192	21,927	23,758																																										
つくば	18,671	12,654	15,413	17,273																																										



※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の値として参考に掲載

2 日暮里・舎人ライナーの令和5年度輸送実績

(東京都交通局提供)

(1) 年間輸送人員

3, 294万9千人

(令和4年度 3, 077万7千人 7.1%増)

※ 参考 新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度は

3, 321万人

(2) 一日平均輸送人員

9万人

(令和4年度 8万4千人 6千人増)

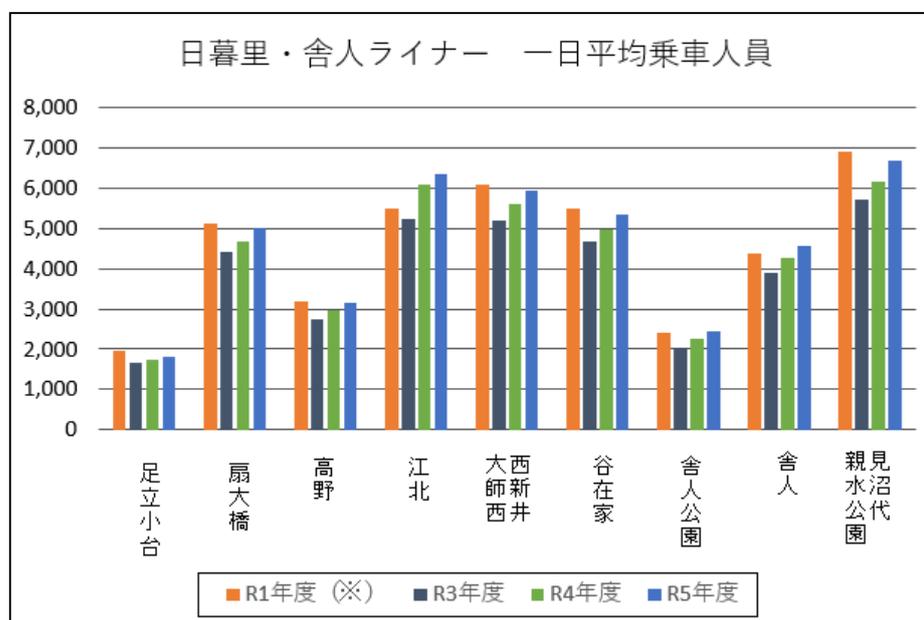
(3) 混雑率

171%

(令和4年度 155% 16ポイント増)

(4) 主要駅別の一日平均乗車人員 (単位 人)

駅名	令和元年度(※)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
足立小台	1,946	1,653	1,724	1,804
扇大橋	5,124	4,429	4,680	5,000
高野	3,173	2,750	2,983	3,133
江北	5,490	5,226	6,099	6,348
西新井大師西	6,106	5,184	5,609	5,943
谷在家	5,493	4,673	4,987	5,345
舎人公園	2,400	2,038	2,243	2,431
舎人	4,386	3,884	4,255	4,583
見沼代親水公園	6,903	5,716	6,178	6,681



※ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の値として参考に掲載

※ 2(4)以外については、8月の総合交通対策調査特別委員会にて報告済み

3 今後の方針

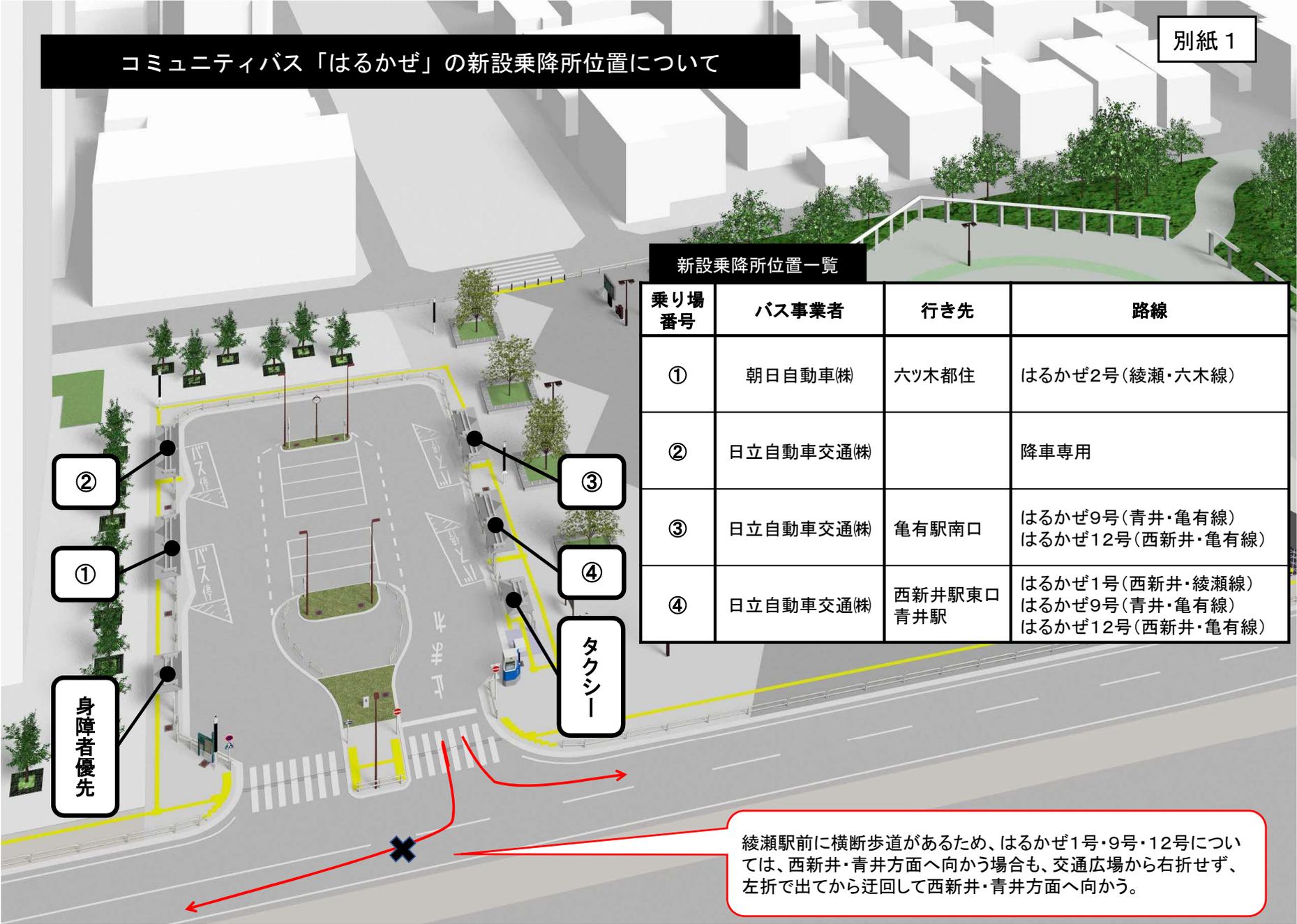
- (1) つくばエクスプレスについては、8両化事業の早期実現と混雑対策を、沿線区市と連携しながら首都圏新都市鉄道株式会社へ引き続き要望する。
- (2) 日暮里・舎人ライナーについては、朝夕の混雑緩和対策及び令和4年度からの新型車両更新が速やか、かつ確実に進むよう東京都へ引き続き要望する。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年11月15日

件名	綾瀬駅東口交通広場の整備に伴うはるかぜの経路変更等について																				
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課																				
内容	<p>綾瀬駅東口駅前交通広場の整備に伴うはるかぜ路線の経路変更等について以下のとおり報告する。</p> <p>1 交通広場への乗入れについて</p> <p>(1) 対象路線</p> <p>ア はるかぜ1号(西新井・綾瀬線)</p> <p>イ はるかぜ2号(綾瀬・六木線)</p> <p>ウ はるかぜ9号(青井・亀有線)</p> <p>エ はるかぜ12号(西新井・亀有線)</p> <p>(2) 乗入開始予定時期 令和7年1月中旬</p> <p>(3) 交通広場内の乗降位置 別紙1のとおり P11参照</p> <p>(4) 乗入に伴う経路変更 別紙2、3のとおり P12～13参照</p> <p>(5) 便数の増減</p> <p>上記4路線のうち、日立自動車交通株式会社が運行するはるかぜ1号・9号・12号は、乗務員不足により令和5年12月に減便を行ったが、その後の待遇改善などの取組みにより乗務員数に改善が見られてきたことから、今回の乗入れに合わせて増便を行う。</p> <p>(平日、往復)</p> <table border="1" data-bbox="416 1529 1161 1785"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在</th> <th>変更</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はるかぜ1号</td> <td>57</td> <td>66</td> <td>+9</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ2号</td> <td>156</td> <td>156</td> <td>±0</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ9号</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ12号</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>+4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 検討中のため、今後変更となる可能性あり</p> <p>2 利用者への周知について</p> <p>乗入れ開始に伴い経路変更やバス停の廃止があるため、区ホームページやSNS、バス停への掲示等により、利用者への周知を図っていく。</p>		現在	変更	増減	はるかぜ1号	57	66	+9	はるかぜ2号	156	156	±0	はるかぜ9号	54	58	+4	はるかぜ12号	35	39	+4
	現在	変更	増減																		
はるかぜ1号	57	66	+9																		
はるかぜ2号	156	156	±0																		
はるかぜ9号	54	58	+4																		
はるかぜ12号	35	39	+4																		

コミュニティバス「はるかぜ」の新設乗降所位置について



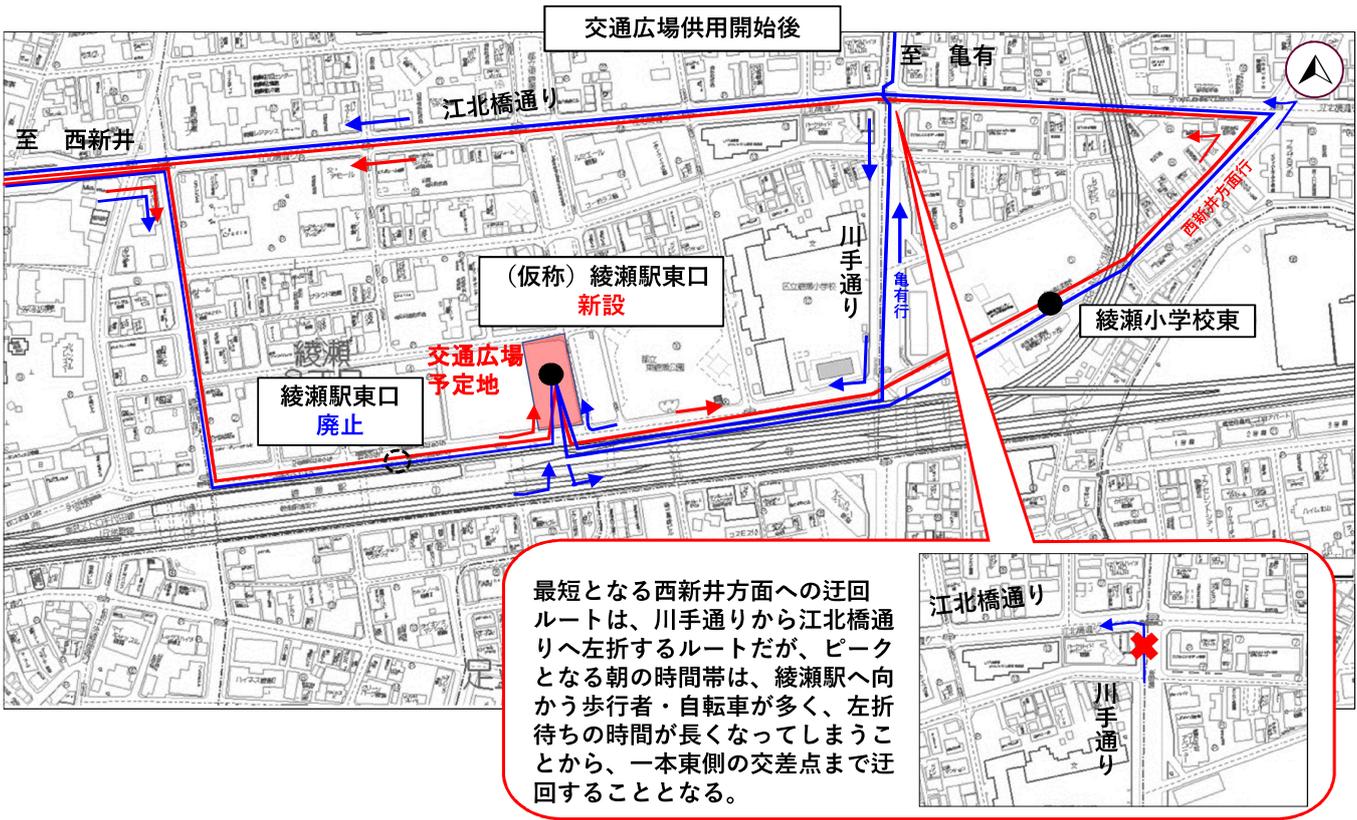
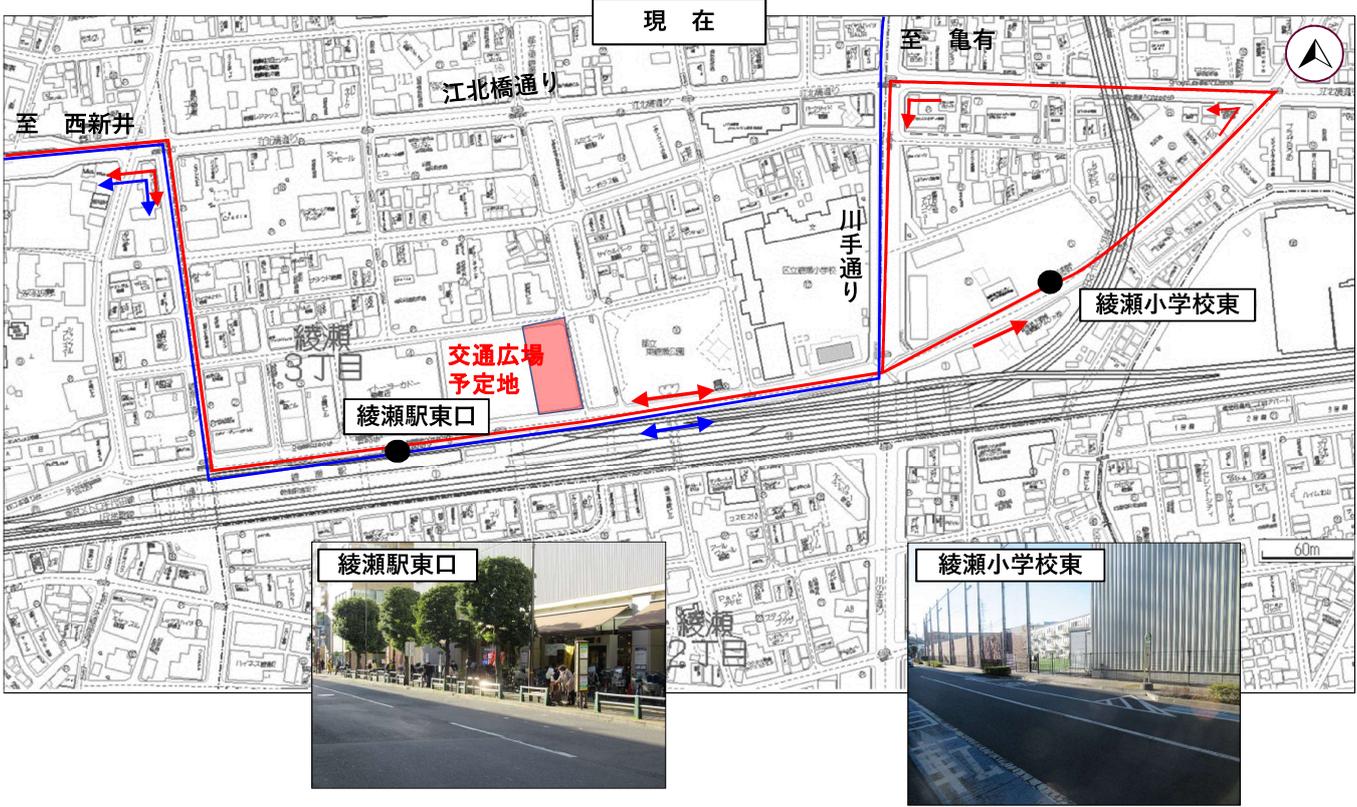
新設乗降所位置一覧

乗り場番号	バス事業者	行き先	路線
①	朝日自動車株	六ツ木都住	はるかぜ2号(綾瀬・六木線)
②	日立自動車交通株		降車専用
③	日立自動車交通株	亀有駅南口	はるかぜ9号(青井・亀有線) はるかぜ12号(西新井・亀有線)
④	日立自動車交通株	西新井駅東口 青井駅	はるかぜ1号(西新井・綾瀬線) はるかぜ9号(青井・亀有線) はるかぜ12号(西新井・亀有線)

綾瀬駅前に横断歩道があるため、はるかぜ1号・9号・12号については、西新井・青井方面へ向かう場合も、交通広場から右折せず、左折で出てから迂回して西新井・青井方面へ向かう。

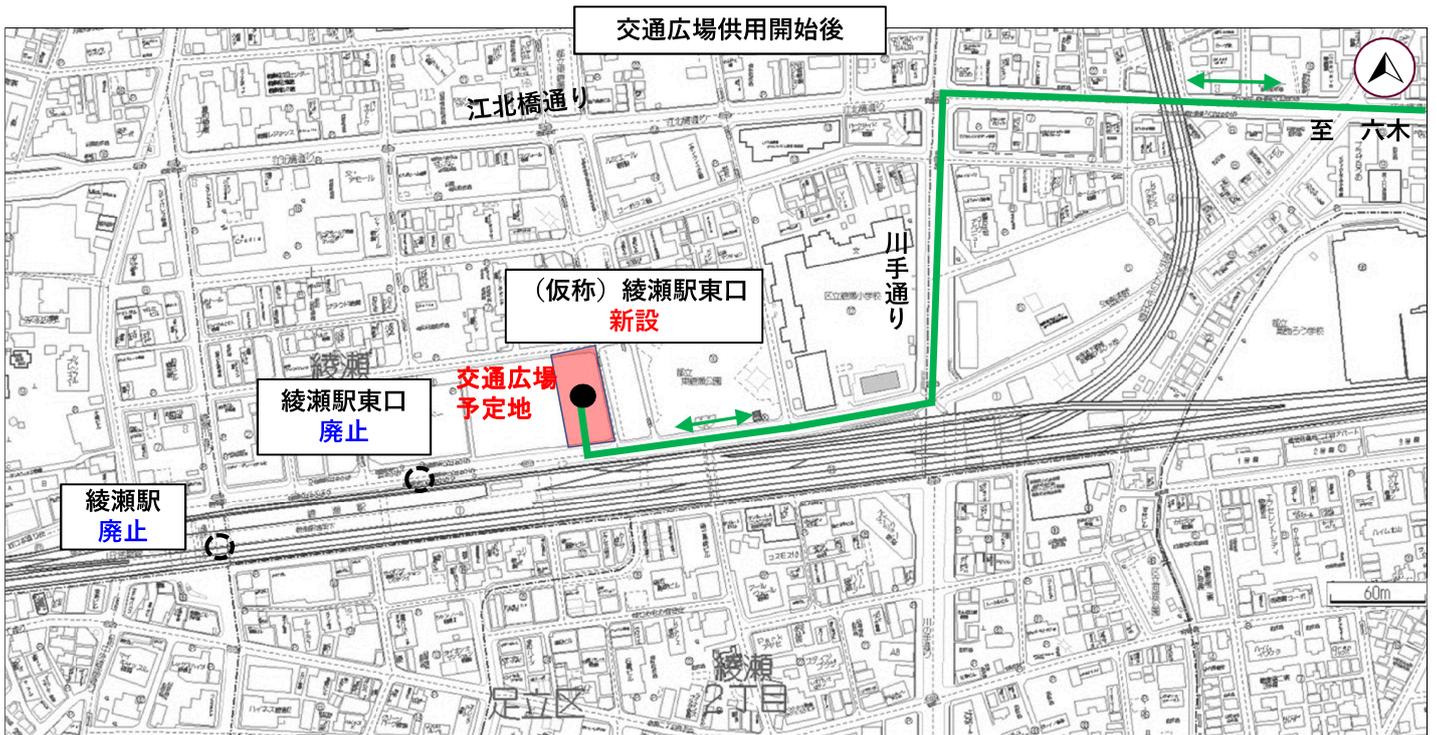
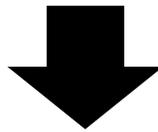
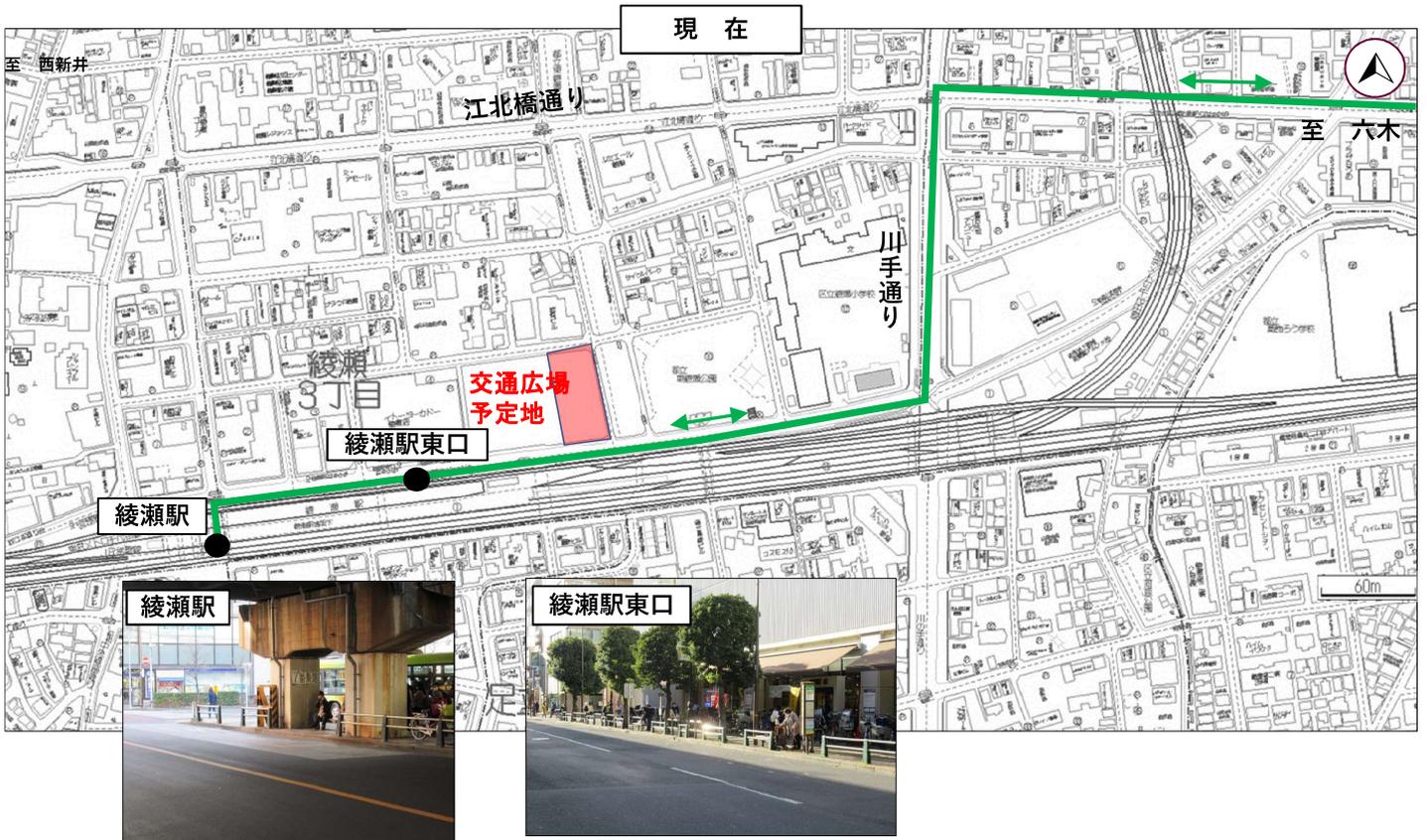
はるかぜ1号・9号・12号の経路変更について【日立自動車交通（株）】

— はるかぜ1号（西新井・綾瀬線）
— はるかぜ9号（青井・亀有線）
— はるかぜ12号（西新井・亀有線）



はるかぜ2号の経路変更について【朝日自動車（株）】

はるかぜ2号（綾瀬・六木線）



総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和6年11月15日

件名	足立区デマンドタクシー「足タク」の実証実験について																								
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課																								
内容	<p>令和6年6月17日から実証実験を開始した、足立区デマンドタクシー「足タク」の利用状況や実証実験期間等について以下のとおり報告する。</p> <p>1 利用者登録数（9月末時点） 1,462名（一般登録者294名、割引登録者1,168名）の利用者登録があり、実証実験開始当初から337名増加している。</p> <p>2 利用状況について (1) 9月末までの利用実績について 9月は祝日が2日間あったことにより、稼働日が少なくなったことから総利用件数は281件であった。なお、7月から9月まで1日当たりの平均利用件数は約12件となっている。</p> <table border="1" data-bbox="450 1133 1442 1384"> <thead> <tr> <th></th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総利用件数</td> <td>114件</td> <td>309件</td> <td>325件</td> <td>281件</td> <td>1,029件</td> </tr> <tr> <td>稼働日</td> <td>12日</td> <td>26日</td> <td>26日</td> <td>23日</td> <td>87日</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの平均利用件数</td> <td>9.5件/日</td> <td>11.8件/日</td> <td>12.5件/日</td> <td>12.2件/日</td> <td>11.8件/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 1日当たりの利用件数について（別紙1 P17参照） ア 割引登録者の利用は月曜日、火曜日が多いが、一般登録者の利用は金曜日、土曜日が多い。 イ 乗降スポット別に見ると、博慈会記念総合病院は曜日関係なく利用されているが、東京北部病院は木曜日が休診している診療科が多いため、足タクの利用が少ないのではないかと推測される。</p> <p>3 本格運行への目安となる4つの指標について（別紙2 P18参照） 実証実験開始前に掲げていた4つの指標について検証した。事業内容の見直しを随時行ってきたが、周知期間やタクシー事業者の継続可能な運行方法を検証するため、次項のとおり実証実験期間を延長する。</p>		6月	7月	8月	9月	計	総利用件数	114件	309件	325件	281件	1,029件	稼働日	12日	26日	26日	23日	87日	1日当たりの平均利用件数	9.5件/日	11.8件/日	12.5件/日	12.2件/日	11.8件/日
	6月	7月	8月	9月	計																				
総利用件数	114件	309件	325件	281件	1,029件																				
稼働日	12日	26日	26日	23日	87日																				
1日当たりの平均利用件数	9.5件/日	11.8件/日	12.5件/日	12.2件/日	11.8件/日																				

4 実証実験期間の延長を含めた事業の見直しについて（別紙3 P19 参照）

足タクは自宅から乗降できることで利用者の満足度は高く、デマンド型交通の有効性は一定程度確認されているため、実証実験期間を延長し、引き続き利用状況を確認するとともに、タクシー事業者の継続可能な運行方法を検証していく。

なお、12月からタクシー事業者の運行方法を変更するため、令和7年1月中旬に事業継続可否について再度ヒアリングし、令和7年4月以降の本格運行を判断する。

(1) これまでの事業見直し（実施済み）

時期	見直し内容						
令和6年9月2日～	<p>(1) 乗降スポット追加（3か所） 足タクは医療施設の利用が多いことに加え、8月に実施した利用登録者へのアンケート結果から医療施設を3か所追加した。</p> <p>(2) 事業者への負担金（手数料）見直し 高齢者の利用が多く、電話受付による配車が想定以上に手間がかかることから手数料の見直しを実施した（タクシー事業者で行っている「日時指定予約（追加料500円）」を準用）。</p> <p>※ 手数料比較</p> <table border="1"> <tr> <td>手数料 3%</td> <td>1件につき 500円</td> </tr> <tr> <td>8月実績(325件)</td> <td>9月実績(281件)</td> </tr> <tr> <td>約 14 千円 (4 社合計)</td> <td>約 140 千円 (4 社合計)</td> </tr> </table>	手数料 3%	1件につき 500円	8月実績(325件)	9月実績(281件)	約 14 千円 (4 社合計)	約 140 千円 (4 社合計)
手数料 3%	1件につき 500円						
8月実績(325件)	9月実績(281件)						
約 14 千円 (4 社合計)	約 140 千円 (4 社合計)						
令和6年10月1日～	<p>(1) 乗降スポット間移動を可能に 地域から要望が多かったことから、協力タクシー事業者とのヒアリングを経て乗降スポット間の移動を可能とした。</p>						

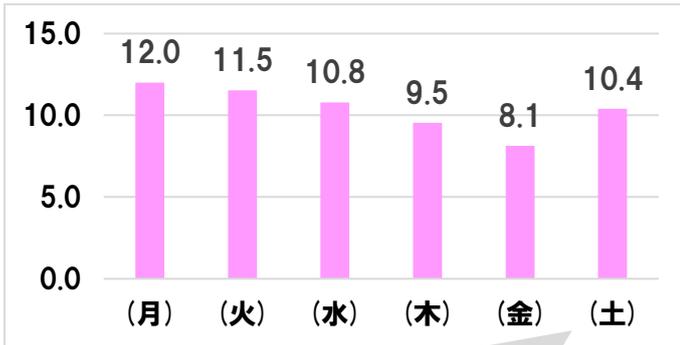
(2) 12月以降の事業の見直し(予定)

時期	見直し内容
令和6年12月2日～	<p>(1) 乗降スポットの追加(2か所追加予定) 足タクの利用者登録には妊婦も含まれていることや、アンケートで要望のあった、産婦人科や子育てサロンを追加し、合計30か所の乗降スポットとし検証していく。</p> <p>ア 小金井クリニック (小児科・産婦人科)</p> <p>イ 子育てサロン北鹿浜 (鹿浜未来小学校内)</p> <p>(2) 事業者ごとに配車時間等の設定 各事業者へのヒアリングの結果、想定以上の事務負担が生じていることから、事業者ごとに現在運休日となっている日曜・祝日以外の曜日で運休日を設定することや、電話受付時間を変更し、継続性のある運行方法を検証していく。</p>

(3) 周知方法

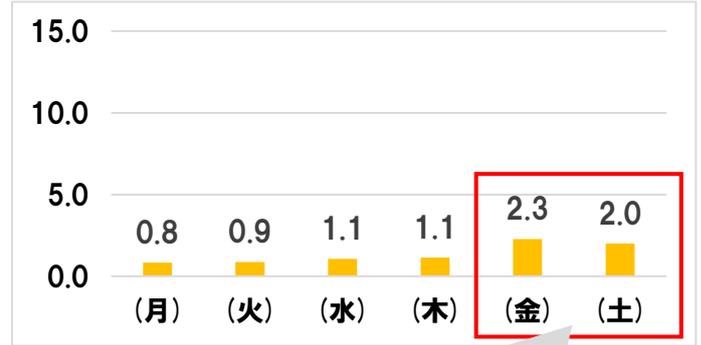
上記の変更点を記載した「利用ガイド vol. 2」を11月下旬に再度対象地域内に全戸配布をするとともに、区広報、ホームページ及びSNSを活用しながら周知を行う。

割引登録者(利用件数=909件)



月曜日から金曜日に向けて利用件数は減っていくが土曜日の利用は多い

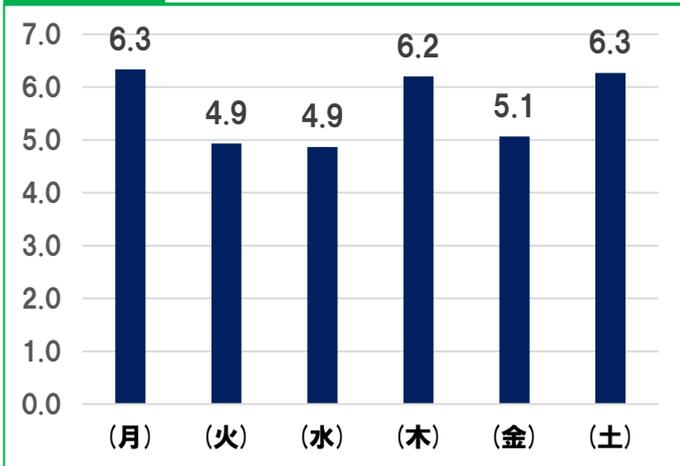
一般登録者(利用件数=120件)



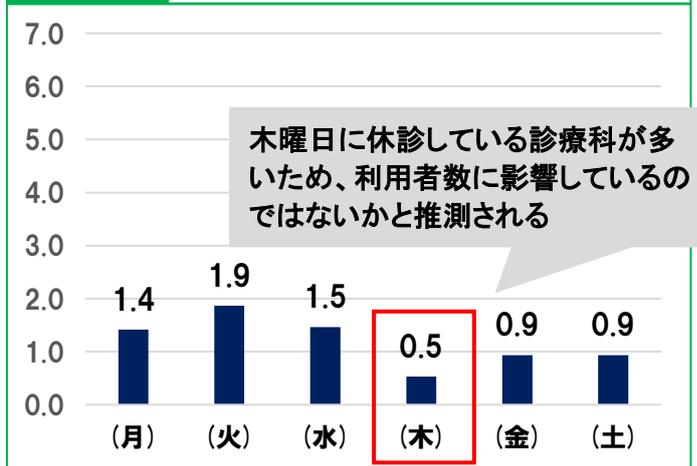
月曜日から木曜日に比べての金曜日、土曜日は倍の利用がある

1日当たりの利用件数 × 曜日別 × 乗降スポット別(上位4位)

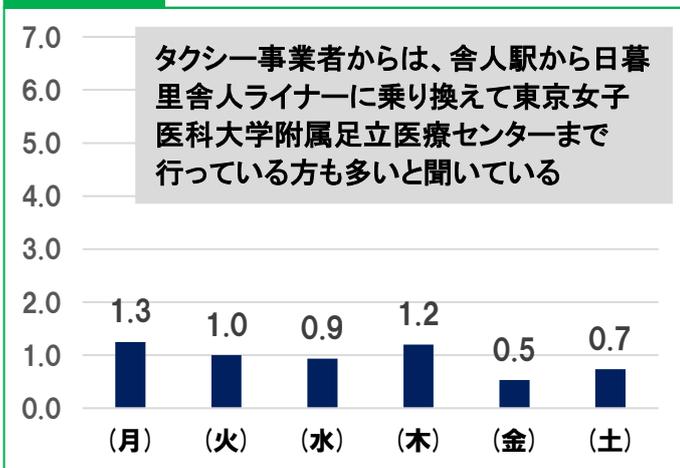
上位1位 博慈会記念総合病院(利用件数=486件)



上位2位 東京北部病院(利用件数=103件)



上位3位 舎人駅(利用件数=81件)



上位4位 西新井大師西駅(利用件数=72件)



① バスとは異なり、利用件数と区の財政負担額は比例関係にあること
利用件数が多ければ多いほど良いという実験ではない

指標1 1日の平均利用件数が**40~50件程度**であること

※ 令和5年11月16日の総合交通対策調査特別委員会資料より抜粋
 上記の利用件数と仮定した場合、6か月間の区負担合計額（事務手数料は除く）は、
 $(2,800円 - 1,000円) \times 50件/日 \times 25日 \times 6か月 = 13,500千円$
 本格運行している他自治体（人口10万人程度）の年間負担額は、30,000千円
 ~50,000千円程度であり、上記の公費負担額は妥当であると考ええる。

現状分析

6/17~9月末までの利用

- (1) 1日の平均利用件数は約**12件**
- (2) **70歳以上の方、かつ医療施設への利用が多数**

負担金（手数料）を見直した**9月分の公費負担額は約450千円**となる見込み
 現状での1年間の区負担額は $450千円 \times 12か月 = 5,400千円$
 9月実績での利用1件当たりの区負担額は、**約1,500円/件**となる。

以上のことから公費負担は妥当であると考え

② 協定に基づく事業であり、**タクシー事業者の協力が不可欠であること**
 （継続していくためには、会社や乗務員への負担等を考慮する必要がある）

指標2 タクシー事業者**3社以上**が継続の意思を有すること

※ 令和5年11月16日の総合交通対策調査特別委員会資料より抜粋
 乗務員不足の中、限られた人的資源での運用となるため、改めてタクシー事業者
 者に以下の点を踏まえて、継続意向を確認する必要がある。
 (1) タクシーは基本的に歩合制のため、本実験への協力により、収入減となっ
 ていないか。
 (2) 電話予約のオペレーターや乗務員の接客対応、月締め精算業務など過度な負
 担が生じていないか。

現状分析

想定以上に電話対応や事務等に負担が生じている

見直し① 9月~ 負担金（手数料）を3%から1件500円に変更

見直し② 12月~ タクシー事業者ごとに運行日及び運行時間を設定
 タクシー事業者ごとに事務員数や配車方法等が異なるため、**継続可能な運行方法を引き続き検証する**

③ 周辺に複数の事業者が運行するバス路線があること
 （公費による実験であり、民業圧迫することはできない）

指標3 周辺の**バス路線への影響が軽微**であること

現状分析 **現状ではバス路線へ大きな影響はない**

9月に実施したバス事業者アンケートでは、バスの利用者数等に大きな影響はないことが確認できたが、以下の意見が挙げられた。

- (1) 運行区域の拡大や利用制限等が拡大された場合、既存バス路線への影響も懸念されるため配慮いただきたい。
- (2) デマンドタクシーによる影響ではないと推測されるが、バスの利用者数は若干減少している。

④ 区内初の**デマンド型交通の有効性や課題等を検証する必要性があること**
 （他自治体では特定の方が高頻度で利用する事例が発生）

指標4 デマンド型交通の**利用満足度が50%以上**であること

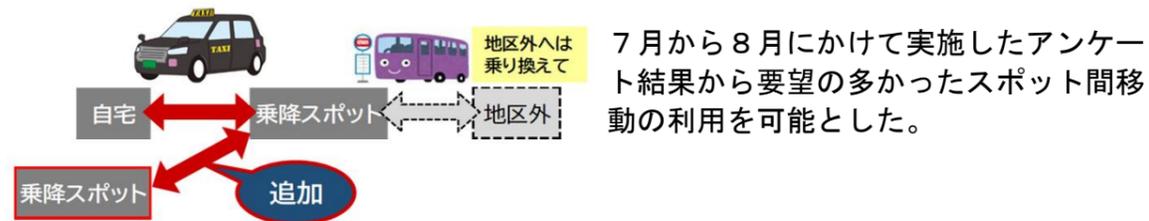
現状分析 **利用満足度は約80%**（7月~8月にアンケート実施）

足タクの改善してほしい点は、多い順に「乗降スポットを増やしてほしい」「事前予約制にしてほしい」「乗降スポット間の移動を出来るようにし

見直し① 9月~ **乗降スポット3か所追加**

医療施設の利用が多かったことから、クリニックや整形外科等を追加した。

見直し② 10月~ **乗降スポット間の移動が可能に**



見直し③ 12月~ **乗降スポット2か所追加**

利用登録者に妊婦も含まれていることから運行区域内の産婦人科や、アンケートでも要望のあった子育てサロンを追加する。

実証実験開始時の
運行計画

変更有無

事業見直し後の
運行計画

項目	内容															
実証実験期間	令和6年6月17日(月)～令和6年12月13日(金)															
利用可能時間	午前8時～午後5時(日曜・祝日を除く)															
事業者別配車時間																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運休日</th> <th>受付時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中京自動車(株)</td> <td>日曜・祝日</td> <td>7:50～14:00</td> </tr> <tr> <td>第一交通(株) 西新井(営)</td> <td>日曜・祝日</td> <td>7:50～16:30</td> </tr> <tr> <td>山手観光自動車(株) 足立入谷(営)</td> <td>日曜・祝日</td> <td>7:50～16:30</td> </tr> <tr> <td>明治交通(株) 入谷(営)</td> <td>日曜・祝日</td> <td>7:50～15:00</td> </tr> </tbody> </table>		運休日	受付時間	中京自動車(株)	日曜・祝日	7:50～14:00	第一交通(株) 西新井(営)	日曜・祝日	7:50～16:30	山手観光自動車(株) 足立入谷(営)	日曜・祝日	7:50～16:30	明治交通(株) 入谷(営)	日曜・祝日	7:50～15:00
	運休日	受付時間														
中京自動車(株)	日曜・祝日	7:50～14:00														
第一交通(株) 西新井(営)	日曜・祝日	7:50～16:30														
山手観光自動車(株) 足立入谷(営)	日曜・祝日	7:50～16:30														
明治交通(株) 入谷(営)	日曜・祝日	7:50～15:00														
運行区間	自宅と乗降スポット間の移動															
乗降スポット	25か所															
事業者への支払い	毎月精算 ・ 迎車料金と運賃の合計額から 利用料金を差引いた金額 ・ 事務手数料(迎車料金と運賃の合計額の3%) ※ 8月実績分(325件)の事務手数料は4社合計で約14,000円															



変更無



令和6年12月2日～変更予定



令和6年10月1日～変更済



令和6年9月2日～変更済
令和6年12月2日～変更予定



令和6年9月2日～変更済

項目	内容																				
実証実験期間	令和6年6月17日(月)～令和7年3月31日(月)																				
利用可能時間	午前8時～午後5時(日曜・祝日を除く)																				
事業者別配車時間																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運休日</th> <th>受付時間</th> <th>変更概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中京自動車(株)</td> <td>日曜・祝日</td> <td>7:50～14:30</td> <td>受付時間の延長</td> </tr> <tr> <td>第一交通(株) 西新井(営)</td> <td>水曜 日曜・祝日</td> <td>7:50～15:30</td> <td>運休日の設定及び受付時間の短縮</td> </tr> <tr> <td>山手観光自動車(株) 足立入谷(営)</td> <td>金曜 日曜・祝日</td> <td>11:30～16:30</td> <td>運休日の設定及び受付時間の短縮</td> </tr> <tr> <td>明治交通(株) 入谷(営)</td> <td>木曜 日曜・祝日</td> <td>7:50～15:00</td> <td>運休日の設定</td> </tr> </tbody> </table>		運休日	受付時間	変更概要	中京自動車(株)	日曜・祝日	7:50～14:30	受付時間の延長	第一交通(株) 西新井(営)	水曜 日曜・祝日	7:50～15:30	運休日の設定及び受付時間の短縮	山手観光自動車(株) 足立入谷(営)	金曜 日曜・祝日	11:30～16:30	運休日の設定及び受付時間の短縮	明治交通(株) 入谷(営)	木曜 日曜・祝日	7:50～15:00	運休日の設定
	運休日	受付時間	変更概要																		
中京自動車(株)	日曜・祝日	7:50～14:30	受付時間の延長																		
第一交通(株) 西新井(営)	水曜 日曜・祝日	7:50～15:30	運休日の設定及び受付時間の短縮																		
山手観光自動車(株) 足立入谷(営)	金曜 日曜・祝日	11:30～16:30	運休日の設定及び受付時間の短縮																		
明治交通(株) 入谷(営)	木曜 日曜・祝日	7:50～15:00	運休日の設定																		
運行区間	自宅と乗降スポット間の移動 乗降スポットから乗降スポットの移動																				
乗降スポット	30か所 ※ 9月2日～3か所追加 ※ 12月2日～2か所追加(予定)																				
事業者への支払い	毎月精算 ・ 迎車料金と運賃の合計額から 利用料金を差引いた金額 ・ 事務手数料(利用1件につき500円) ※ 9月実績分(281件)の事務手数料は4社合計で約140,000円となる見込み																				